

2016 年度

韓国留学報告書

実習先：慶熙大学校

実習期間：9月3日(土)～12月23日(金)

新潟国際情報大学
国際文化学科
学籍番号：21015032
乙美穂

目次

1	留学先及び実習期間	3
2	留学先概要	3
3	留学目的	3
4	留学内容	4
	4-1 留学のスケジュール	4
	4-2 留学の詳細	6
5	所感	7
6	おわりに	7
	謝辞	7

付録

	留学日誌	8
--	------	---

1 留学先及び実習期間

留学先：慶熙大学校 国際教育院

留学期間：平成 28 年 9 月 23 日(土)～平成 28 年 12 月 23 日(金)

2 留学先概要

(1)大学について

慶熙大学校は、ソウル市という都市に位置する。ソウル市の人口は約 1000 万人で韓国の首都である。慶熙大学校はキャンパスが二つに分かれてどちらの建物も綺麗で特にソウルにあるキャンパスは大学内にある平和の殿堂という建物では授賞式などが行われるなど韓国の中でも有名な大学である。また学部の数も 20 以上と多様であり生徒の数もとても多く大きな大学である。

(2)大学で行われている教育について

慶熙大学は多くの留学生を受け入れており、毎年 1000 人以上の留学生を受け入れている。また春学期、夏学期、秋学期、冬学期と短期に分かれていて、短期での留学や長期での留学など期間を選ぶこともできる。クラス分けなども初級、中級、上級と学力に分けられていて自分に合った速さで韓国語を学ぶことができる。クラスも様々な国の生徒で構成されている。

3 留学目的

今回の留学の目的は韓国語の能力をあげることである。大学に入学してから韓国語を学び、留学をすることができる機会があったのでこの機会に韓国でも使える韓国語を学び将来に役立つ能力をつけるべきであると感じた。また 2020 年に行われる東京オリンピックで様々な国の人が訪れるのでその時には英語だけではなく様々な国の言語も必要とされるのではないかと考える。そのためにも本場の韓国語を学び韓国語の能力を使って役に立てるようにするべきだと考えた。

毎日行われる韓国語の授業では日本ではなかなか勉強することが難しい話すことと聞くことを特に重点的に勉強することを目的とした。それに加えて韓国語の能力検定を日本に帰ってきたときに受けられるように準備をするようにすることも目的とした。

また日本でだけ生活していれば外に目を向ける機会が少ないと考えほかの国に行き知識を増やし、考えを見直すことを目的とした。

4 留学内容

以下から留学の内容を記述する。

4-1 留学のスケジュール

留学期間中のスケジュールは以下のとおりである。

月	日(曜日)	午前	午後
9	3(土)	到着	
	4(日)		
	5(月)	クラス分けテスト	
	6(火)	入校式	オリエンテーション
	7(水)	韓国語	映画
	8(木)	現地学習	
	9(金)	韓国語	
	12(月)	韓国語	映画
	13(火)	韓国語	韓国文化授業
	14(水)	現地学習	
	16(金)	韓国語	
	19(月)	韓国語	映画
	20(火)	韓国語	韓国文化授業
	21(水)	韓国語	歌
	22(木)	修了式	セミナー
	23(金)	韓国語	
	26(月)	韓国語	映画
	27(火)	韓国語	韓国文化授業
	28(水)	入校式	歌
	29(木)	韓国語	セミナー
	30(金)	韓国語	
10	3(月)	韓国語	映画
	4(火)	韓国語	韓国文化授業
	5(水)	韓国語	歌
	6(木)	韓国語	セミナー
	7(金)	韓国語	

	10(月)	韓国語	映画
	11(火)	韓国語	韓国文化授業
	12(水)	韓国語	歌
	13(木)	韓国語	セミナー
	14(金)	韓国語	
	17(月)	韓国語	映画
	18(火)	韓国語	韓国文化授業
	19(水)	韓国語	歌
	20(木)	韓国語	セミナー
	21(金)	韓国語	
	24(月)	韓国語	映画
	25(火)	韓国語	韓国文化授業
	26(水)	韓国語	歌
	27(木)	韓国語	セミナー
	28(金)	韓国語	
	31(月)	韓国語試験	
11	1(火)	韓国語試験	韓国文化授業
	2(水)	韓国語	歌
	3(木)	韓国語	セミナー
	4(金)	韓国語	
	6(日)	現地学習	
	7(月)		
	8(火)	韓国語	韓国文化授業
	9(水)	韓国語	歌
	10(木)	韓国語	セミナー
	11(金)	韓国語	
	14(月)	韓国語	映画
	15(火)	韓国語	韓国文化授業
	16(水)	韓国語	歌
	17(木)	韓国語	セミナー
	18(金)	韓国語	
	21(月)	韓国語	映画
	22(火)	韓国語	韓国文化授業
	23(水)	韓国語	歌
	24(木)	韓国語	セミナー

	25(金)	韓国語	
	28(月)	韓国語	映画
	29(火)	韓国語	韓国文化授業
	30(水)	韓国語	歌
12	1(木)	韓国語試験	セミナー
	2(金)	韓国語試験	
	5(月)	韓国語	映画
	6(火)	韓国語	韓国文化授業
	7(水)	韓国語	歌
	8(木)	修了式	セミナー
	9(金)	TOPIIC 対策	
	12(月)	TOPIIC 対策	映画
	13(火)	TOPIIC 対策	セミナー
	14(水)	TOPIIC 対策	歌
	15(木)	TOPIIC 対策	セミナー
	16(金)	TOPIIC 対策	
	19(月)	自由研修	
	20(火)		
	21(水)		
	22(木)		
	23(金)		
	24(土)	出発	

4-2 留学の詳細

スケジュールに記載してある各項目の内容は以下のとおりである。

i)韓国語授業

韓国語で文法、話す、聞く、書く、読むについての授業。文法の授業は自分で例文を作る課題や、日記を書く課題も出された。

午後の授業はすべて国際情報大学の生徒のみの授業である。

ii)映画の授業

韓国の映画を韓国語で鑑賞する授業。また見た映画の大雑把なストーリーを發表することや感想を書く課題も出された。

ii)韓国文化授業

韓国文化授業では韓国の伝統的な韓服を着る体験や、テコンドロー体験や、韓国の遊びなどの体験の授業や先生方から韓国の文化や歴史について話を聞くという授業であった。

iii)歌の授業

歌の授業では生徒が紹介したい韓国の歌を一人一曲ずつ紹介し、その曲を皆で歌うという授業。また紹介した曲について歌の授業の先生がより詳しいことを加えてその説明を聞く授業であった。

iv)セミナー授業

興味があることを韓国と日本を比較してまたそのことについて詳しく調べてパワーポイントを作って発表する授業。また調査をするときはアンケートなどをとるなどする活動もあった。

v)現地学習

韓国語を学ぶクラスで韓国の歴史を見ることができる場所や有名な場所に行き韓国のことを体験や見て学ぶことができる機会。またほかの国のクラスメイトとの仲を深めることもできる機会である。

5 当初目的・目標への達成度

今回の留学の達成度について、それぞれまとめる。

i)韓国語の能力を伸ばし将来に役立てる能力を身につける。

韓国語の能力を伸ばすことについては韓国に行ったばかりのころに比べれば授業の先生が話す韓国語は確実に聞き取れることができるようになり、また話すことに関しても外で食事をするときや、買い物をするときを使うため初めの頃より話すことができるようになった。しかし東京オリンピックや他の機会に日本を訪れる人々の助けは十分にはできない。そのような機会に役立たせるには韓国語の勉強と積極的に韓国語を聞き話すことを続けていく必要がある。

ii) 話す、聞く、を重点的に勉強し日本で韓国語の能力検定を受ける準備をする。

話す、聞くは授業中に重点的にやったが日本ではその機会が減っているのでしっかり続けていく必要がある。韓国語の能力検定の準備は満足がいくほどできなかったため日本でまた目標やスケジュールを考えなおし勉強する必要がある。

iii) 世界を見る視野を広げる。

世界に目を向け韓国のことについて見てみると政治についての関心が日本と韓国では大きく違った。韓国では政治のことで国民が納得できなかったとき年齢関係なくそのことについて関心を持ち行動する。日本では政治で不満があったとしても学生が大きく動くということはあまり起こらない。しかし韓国では学生もしっかりとした考えがあり行動を起こす。

このことは日本だけではなくほかの国に目を向けたことによってわかったことである。このことから世界を見る視野は広がったと考えられる。

6 反省・課題

韓国で約4カ月生活して日本で勉強していることよりもたくさんのお話を学ぶことができた。しかし留学しただけではそれ以上の力をつくことはできない。このことを忘れることなく勉強する必要があると感じた。また今回の留学で学んだことをこれからの将来についての選択の時役立てていきたいと考える。

謝辞

今回韓国での生活で多くの助けをしてくださった慶熙大学で本人の先輩である川上洋子さん、また慶熙大学でセミナー担当であり生活面の手伝いをしてくださったキムスンミン先生、その他大勢の関係者の皆様に深く感謝申し上げます。また、韓国語担当であり留学の準備やサポートをしてくださった申銀珠先生、吉澤文寿先生には心より感謝いたします。最後に、国際情報大学からいただきました奨学金により、留学に参加が実現し、有意義な体験ができたことを、心から感謝いたします。

付録：現地学習

9月8日 木曜日
行き先 韓国民俗村 食堂 陶器作り体験
内容 ・慶熙大学からバスに乗り韓国民俗村へ ・韓国民俗村で韓国の文化や歴史について体験しながら見学 ・バスで食堂に移動し昼食を食べる ・バスで移動し陶器作りが体験できる場所へ ・陶器作りを体験 ・バスで大学へ移動し解散

具体的な内容および所感

韓国民俗村では大学からミッションが設けられそのミッションをクリアしながら文化や歴史を体験。食堂での昼食は韓国の料理を食べた。陶器作りの場所では、マグカップに絵を描く体験と好きな皿を作る体験を行った。

韓国民俗村では昔の家を見ることができ、また昔の文化も体験ができたことは韓国について知るには良い体験であった。

昼食はクラスの生徒と一緒に食事をとることができたためコミュニケーションもとれた。また昼食は韓国料理であったため食事でも韓国について知ることができる機会であった。

9月14日 水曜日
行き先 国立中央博物館 食堂 ナンタ劇場 Nソウルタワー
内容 ・慶熙大学から国立中央博物館へ移動 ・博物館を見て回る ・博物館から食堂へ移動 ・食堂からナンタ劇場でナンタを見る ・ナンタ劇場からNソウルタワーへ移動 ・Nソウルタワーから慶熙大学へ移動 ・慶熙大学へ到着し解散

具体的な内容および所感

国立中央美術館では韓国の歴史やアジアの歴史を見ることができる。昔の絵や置物や昔の家の作りなどを見て回った。

ナンタ劇場ではナンタと言うミュージカルを見た。

N ソウルタワーではタワーの最上階に行きソウルの景色を見た。また N ソウルタワーの記念品なども買うことができる。

国立中央美術館は韓国の歴史について目で見ることができ、また美術館の建物は綺麗で近代的な建物であった。

ナンタ劇場で見たナンタは言葉を発しないミュージカルだったため韓国語が理解できない人にもわかりやすいものであった。

N ソウルタワーはソウルの景色を見ることができ、このようにソウルを見ることも韓国について知ることができるのではないかと考えた。

11月6日 日曜日
行き先 雪岳山 民俗博物館 ホテル
内容 ・慶熙大学からバスで民族博物館へ移動 ・民族博物館を見学 ・バスで食堂に移動し昼食を食べる ・バスで移動し雪岳山に移動する ・雪岳山から食堂へ移動し夕食を食べる ・食堂からホテルへ移動

具体的な内容および所感

民族博物館を見学。

雪岳山に行き紅葉を見る。

雪岳山からバスで移動し近くのホテルに移動。夜は生徒と先生でレクリエーション。

民族博物館は歴史だけではなく今までの歴史の勉強や文化とは違うところは良かったのではないかと思う。

雪岳山は紅葉をよく見ることができる場所であった。雨が降っていたため山に登ることができなかったことは残念であった。

ホテルはクラスの生徒と一緒にの部屋で他の国の人とも一緒にの部屋であったためたくさんコミュニケーションをとることができた。